

# 付録

## カスタマイズ就業における就業イメージ・事例集

これらの成功例は、カスタマイズ就業で支援する前には就業が非常に困難と判断されていた人々である。一見したところ、就業困難性が元々ないように自然に見える例もあるが、カスタマイズ就業戦略によって、仕事と個人の完全なフィットを達成した結果であることに意義がある。作業の難易は、もしかすると福祉的な作業所等での作業と大差ないものがあるかもしれない。しかし、問題は作業の難度ではない。その仕事内容が、本人と企業あるいは社会の関係から個別に成り立っているということである。(写真使用はご本人の了解済み)

### 1. ペットサロンで働く自閉症がある青年

自閉症の「特性」にあわせ、最初は倉庫の物品整理の作業をしていたが興味が持てず、効率も悪く、ついには何もできないと決め付けられ雨の中で看板もちをさせられていた青年。カスタマイズ就業チームは、彼が動物好きであることに気づいて、近所の動物を扱っているところにあたっていたが、なかなか交渉がうまくいかなかった。一つ開店間近のペットサロンがあり、リハビリテーション局の助成金でドライヤーや上下可能台を持ち込んで仕事をする事で交渉したところ、訓練を試みるということになった。すると、仕事をすぐにマスターし、朝は一番で夜遅くまで誇りを持って仕事をするようになった。



### 2. 小規模事業「エイボンエンジェルス」を立ち上げた知的障害がある女性2名

知的障害がある人の施設において友達同士の女性2人。一人はお化粧が大好き。もう一人は字が読めるが、対人関係が苦手。エイボン化粧品のセールスレディー用の注文商品の袋詰めの仕事を担当する小規模事業「エイボンエンジェルス」を立ち上げた。現在、ジョブコーチがついて特訓中だ。インターネットでの注文や計算もできるようになり、セールスレディーの電子注文の手伝いもできるようになった。売り上げの10%がマージンとして入るようになっている。



### 3. 子どものコミュニティセンター設置のゲーム機器のオーナーとなった中年の男性

ダウン症をもち、中年になるまで施設にいた人。テレビゲームが大好き。リハビリテーション局の助成金でアーケードゲームの機械を2台購入して、子供たちのコミュニティセンターに設置した。売り上げの40%はコミュニティセンターの場所代として払い、残りは自分の収入となるようにした。

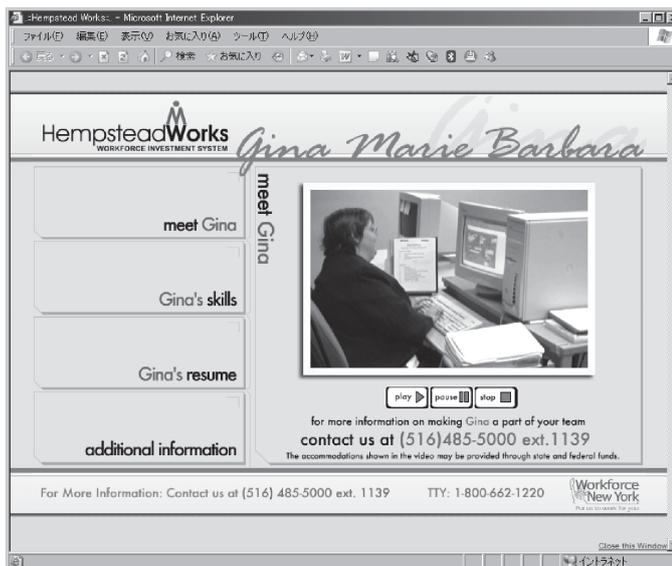


### 4. 病院の受付を担当する肢体不自由の女性

病院勤務の夢をもつ、下半身麻痺で上肢にも機能障害がある女性。疾病分類コーディングや保険業務の学校に通い、その他の強みを示したマルチメディアの個人プロフィールを作成し、医療機関にアプローチし、病院の受付担当として採用された。

車いす使用のため設備を改善した他、トイレのための介助者、機器操作を容易にするための支援機器を導入し、交通支援サービスを活用した。

現在は病院の顔として、来訪者や電話の対応に活躍している。



## 5. 犬のトレーナーとなった高次脳機能障害がある女性

脳外傷で記憶障害が生じた女性。周囲からは障害があると思われないが、記憶障害のために仕事ができないでいた。彼女の好きな仕事で、記憶が必要ない仕事を探し、犬のトレーナーの仕事に就いた。あまりにその仕事がうまくできるので、雇用主は別の仕事を頼もうとするが、それはできないことを注意している。



## 6. マッサージとアクセサリ販売の自営を始めた高次脳機能障害と全盲を合併した青年

交通事故で脳外傷を受け、視力を失った青年。マッサージの資格をとり、両親の雑貨屋でマッサージ業を開業するとともに、アクセサリを製作して売るようにした。また、小学校や教会などの組織で、自分の経験を話す講演活動も行うようになっている。

